



2018年3月期 第2四半期決算説明会 (2017年4月1日～2017年9月30日)



2017年11月10日
Global Logistics Partner
株式会社 近鉄エクスプレス
kintetsu world express

■ 2018年3月期 第2四半期決算概要 及び2018年3月期通期業績見通しについて

- 02 2018年3月期 第2四半期の業績
- 03 営業収入と原価・販売管理費の比較
- 04 2018年3月期 第2四半期業績 貸借対照表
- 05 キャッシュ・フロー計算書
- 06 営業収入・営業利益のセグメント別内訳
- 07 セグメント別営業利益率
- 08-10 2018年3月期 第2四半期 セグメント別 概況
- 11 営業収入の事業別内訳
- 12 輸送モード別の営業粗利益率
- 13 2018年3月期業績見通し(予想)
- 14 2018年3月期業績予想の
事業別・セグメント別内訳

■ 今後の事業拡大に向けた施策

- 16 中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要
- 17 中期経営計画3ヵ年の実績と目標値
- 18 セグメント別営業収入・営業利益の目標(2017年度、
2018年度)
- 19 航空・海上物量の推移・目標
- 20 2017年度の重点施策
- 21 APLLとのコラボレーション
- 22 APLLとのインテグレーション
- 23 下期の見通し
- 24 配当について

■ 参考資料

- 26 セグメント別物量実績(航空)
- 27 セグメント別物量実績(海上)
- 28 当社グループのグローバル・ネットワーク

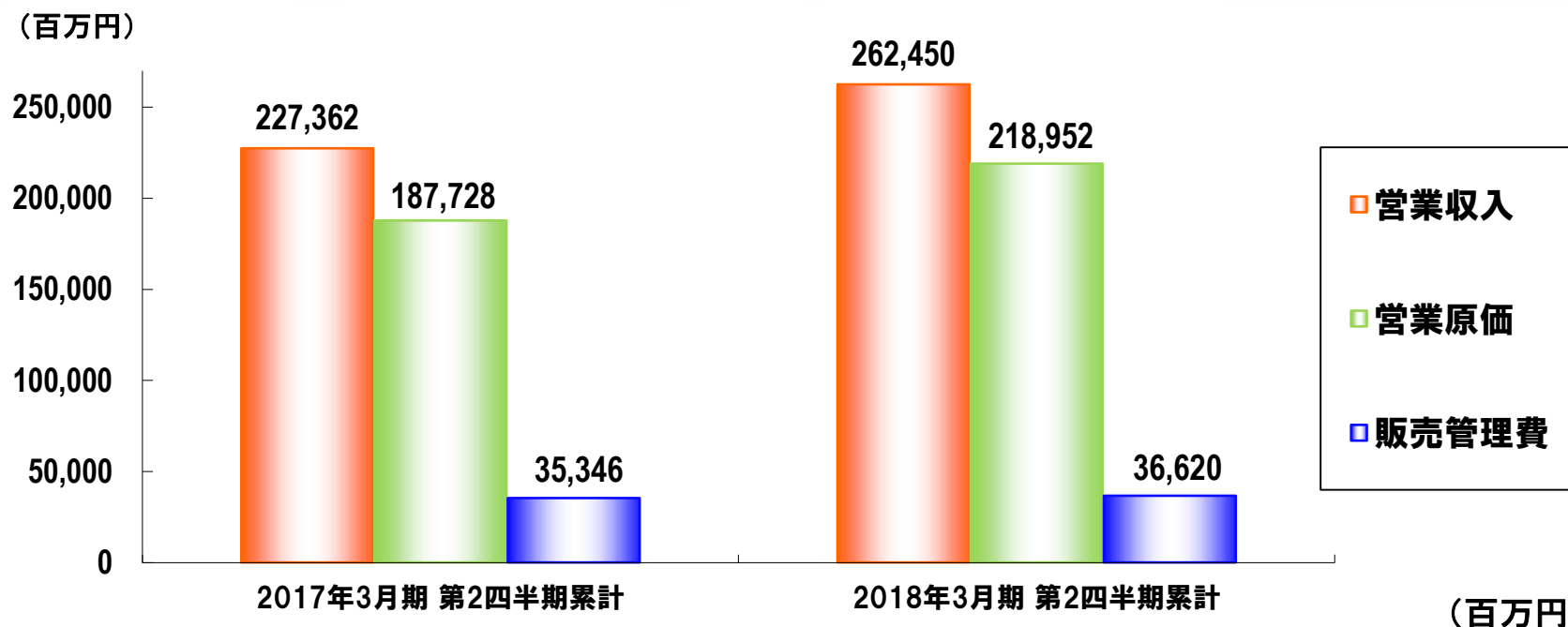
2018年3月期 第2四半期の業績

重量(千トン)、件数(千件)、容積(千TEU)、金額(百万円)

項目	2017年3月期 第2四半期累計		2018年3月期 第2四半期累計		2018年3月期 第2四半期累計 期初予想 (2017年5月11日発表)
		前年同期比増減率		前年同期比増減率	
航空輸出重量	229	0.0%	280	22.6%	—
航空輸入件数	583	△3.8%	652	11.8%	—
海上輸出容積	264	37.0%	320	21.0%	—
海上輸入件数	121	2.8%	137	12.9%	—
営業収入	227,362	38.1%	262,450	15.4%	243,000
営業総利益	39,633	53.3%	43,498	9.8%	—
営業利益	4,287	△35.0%	6,877	60.4%	5,300
経常利益	4,691	△33.4%	6,909	47.3%	5,100
税金等調整前 四半期純利益	5,076	△27.8%	7,057	39.0%	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,177	△71.6%	2,471	109.9%	1,100

適用レート	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期
対米ドル	105.29円	108.38円	111.06円
対ユーロ	118.15円	118.79円	126.29円
対香港ドル	13.57円	13.97円	14.24円
対中国元	15.94円	16.11円	16.42円

営業収入と原価・販売管理費の比較



	2017年3月期 第2四半期累計	対営業収入比	2018年3月期 第2四半期累計	対営業収入比
営業収入	227,362	100.0%	262,450	100.0%
営業原価	187,728	82.6%	218,952	83.4%
販売費及び一般管理費	35,346	15.5%	36,620	14.0%
営業利益	4,287	1.9%	6,877	2.6%

2018年3月期 第2四半期業績 貸借対照表

(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	増減額
(資産の部)			
流動資産	178,101	183,958	5,857
固定資産	201,142	194,780	△6,362
有形固定資産	46,109	46,402	292
無形固定資産	128,049	121,410	△6,638
投資その他の資産	26,983	26,967	△16
資産合計	379,244	378,739	△505
(負債の部)			
流動負債	104,450	114,952	10,501
固定負債	148,777	138,867	△9,910
負債合計	253,228	253,820	591
(純資産の部)			
純資産合計	126,016	124,919	△1,096
負債純資産合計	379,244	378,739	△505

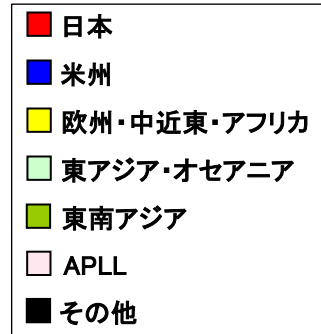
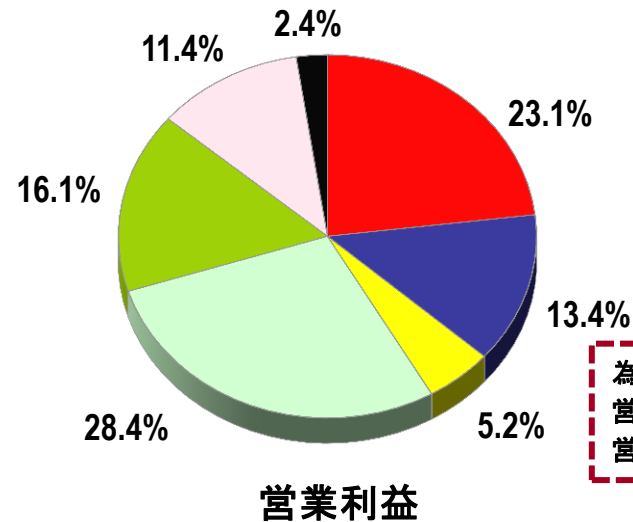
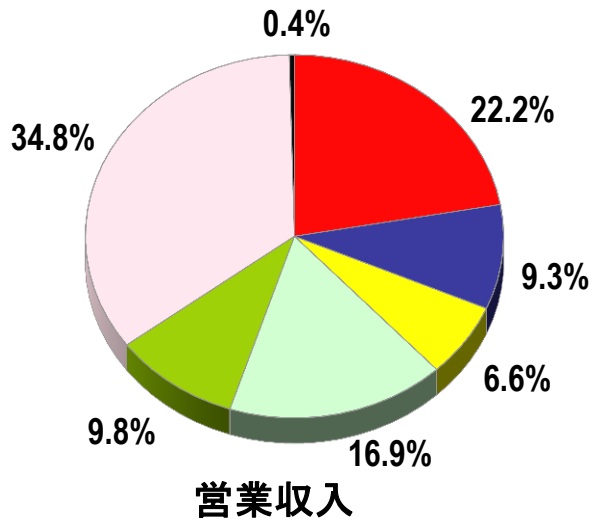
キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,498	5,607	△1,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,784	△1,412	1,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,654	△4,309	△2,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,200	1,127	7,327
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,141	1,012	4,153
現金及び現金同等物の期首残高	63,903	65,506	1,602
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△569	—	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,193	66,519	6,325

営業収入・営業利益のセグメント別内訳

セグメント別構成比(2018年3月期 第2四半期累計)



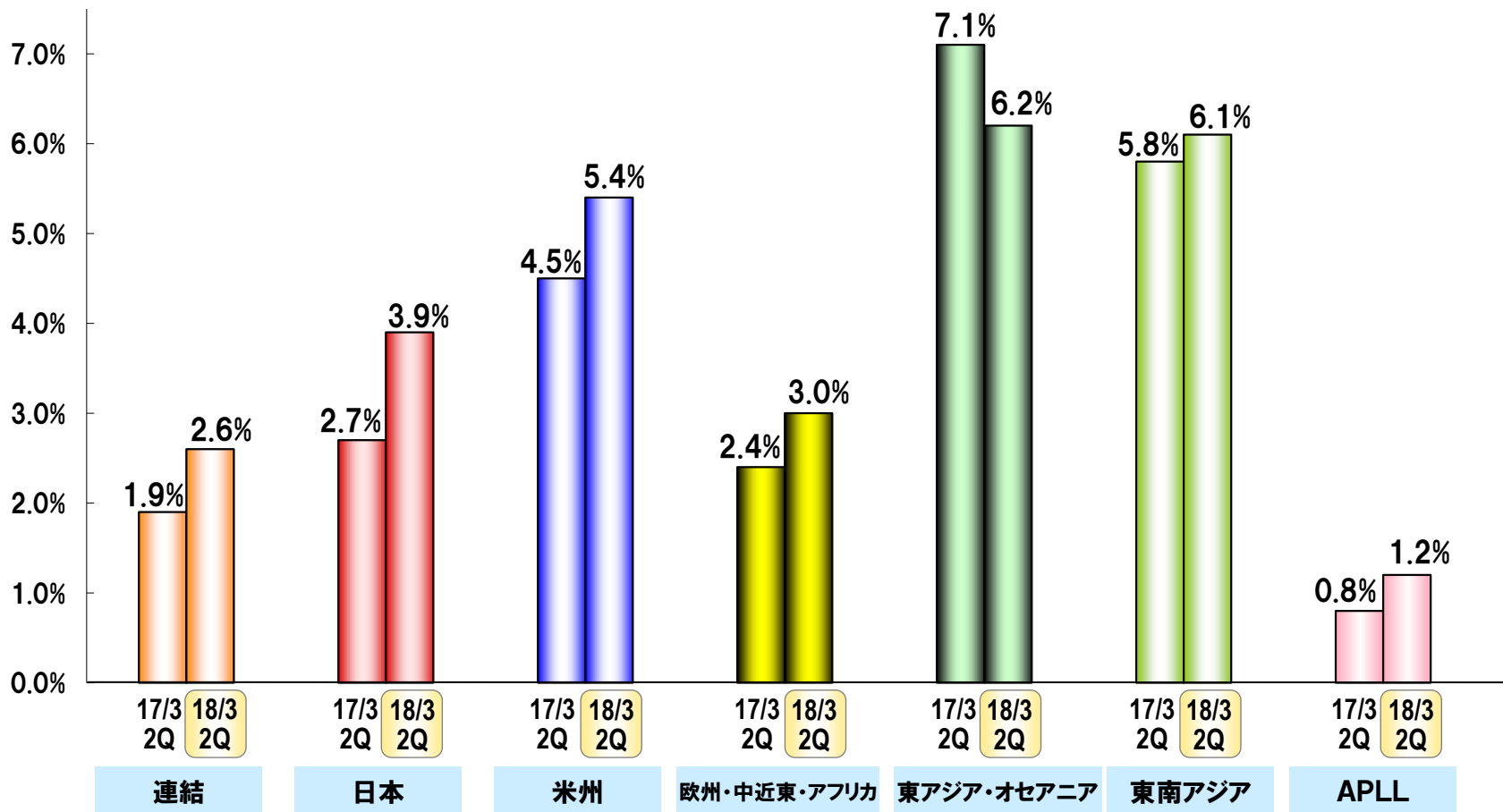
為替による影響額(連結)
 営業収入: +5,568百万円
 営業利益: +283百万円

(百万円)

セグメント別	営業収入	前年同期増減率	営業利益	前年同期増減率
日本	59,820	13.3%	2,305	64.4%
米州	24,943	22.5%	1,338	46.6%
欧州・中近東・アフリカ	17,677	26.1%	521	54.5%
東アジア・オセアニア	45,523	25.2%	2,830	9.9%
東南アジア	26,406	23.2%	1,607	28.2%
APLL	93,749	8.3%	1,131	69.9%
のれん等の償却	—	—	△3,099	—
その他	1,132	12.4%	238	9.8%
調整額	△6,802	—	4	—
合計	262,450	15.4%	6,877	60.4%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

セグメント別営業利益率



※APLLの営業利益は、のれん等の償却前の数値で計算しています。

2018年3月期 第2四半期 セグメント別 概況

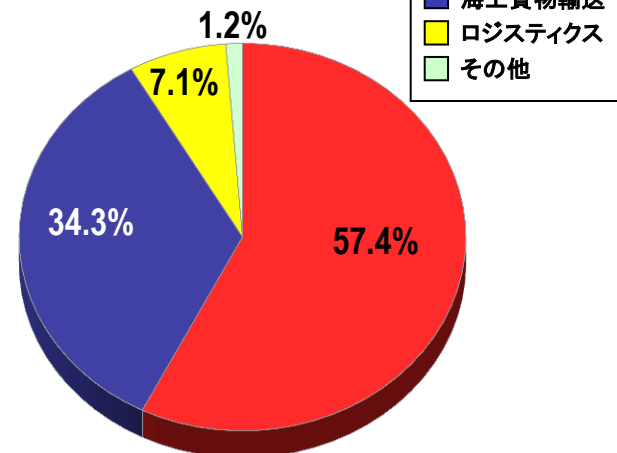
日本

単位:百万円

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業収入	52,778	59,820	7,041
営業利益	1,402	2,305	903

- ・ 単体は半導体・電子部品を中心とした物量増加と収益性の改善により順調に推移。
- ・ 国内関係会社も各社順調に推移。

営業収入の事業構成比



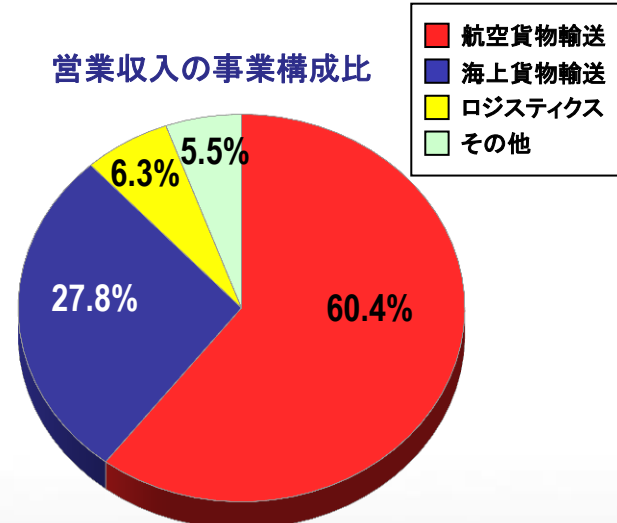
米州

単位:百万円

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業収入	20,369	24,943	4,573
営業利益	913	1,338	425

- ・ 物量増をベースに米国、カナダともに順調に推移。
- ・ 為替影響：営業収入：+1,121百万円 営業利益：+51百万円

営業収入の事業構成比



2018年3月期 第2四半期 セグメント別 概況

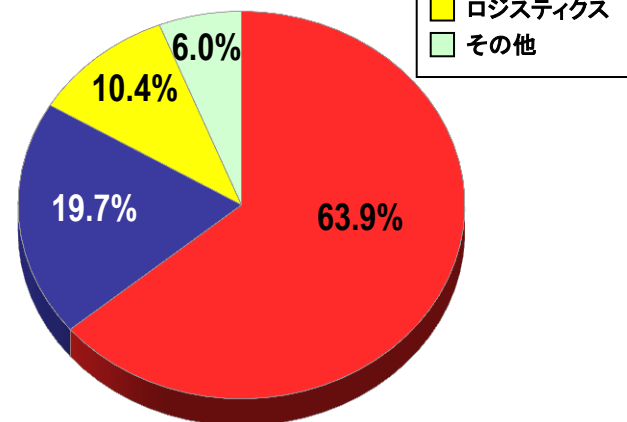
欧州・中近東・アフリカ

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業収入	14,022	17,677	3,654
営業利益	337	521	184

- ・ ベネルクス・フランス・英国等が好調、ドイツ・ロシア・イタリアが不振。
- ・ 為替影響：営業収入：+1,114百万円 営業利益：+29百万円

営業収入の事業構成比



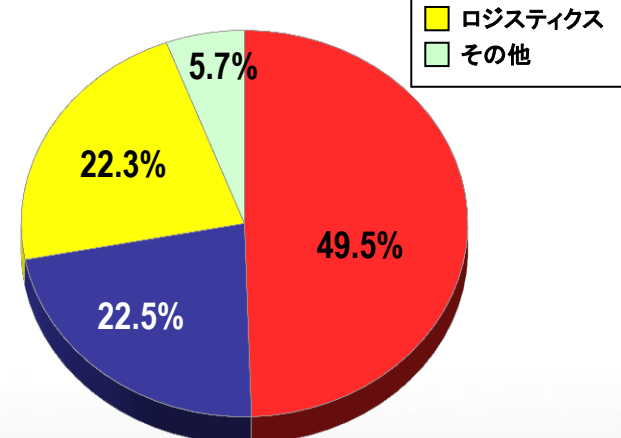
東アジア・オセアニア

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業収入	36,354	45,523	9,169
営業利益	2,575	2,830	254

- ・ 物量増の一方で運賃原価率が上昇。ロジスティクスは順調。
- ・ 為替影響：営業収入：+1,741百万円 営業利益：+120百万円

営業収入の事業構成比



2018年3月期 第2四半期 セグメント別 概況

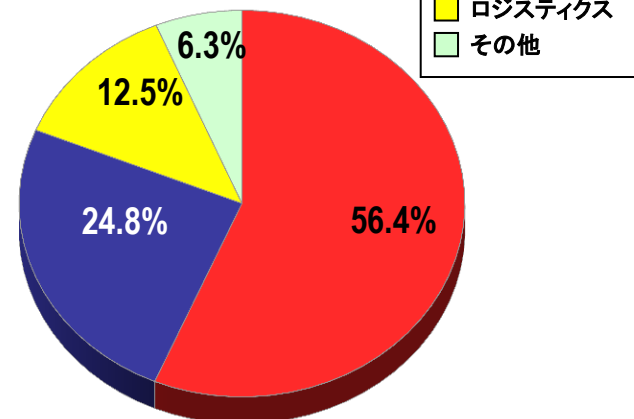
東南アジア

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業収入	21,437	26,406	4,969
営業利益	1,254	1,607	353

- ・ 物量増で総じて順調。特にタイ、フィリピン、ベトナムが好調。
- ・ 為替影響：営業収入：+1,103百万円 営業利益：+66百万円

営業収入の事業構成比



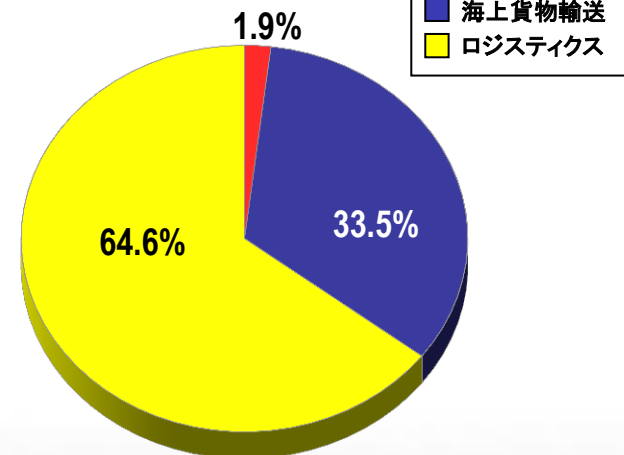
APLL

単位：百万円

	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減額
営業収入	86,545	93,749	7,204
営業利益	△2,416	△1,968	447

- ・ 自動車関連の物流サービスは、米国・メキシコ間の部品物流、インドでの完成車輸送の取扱いが順調。リテール、消費財、インダストリアル関連の物流サービスも、総じて堅調に推移。
- ・ のれん等の償却前では1,131百万円の営業利益を確保するも、償却後では1,968百万円の営業損失を計上。
- ・ 為替影響：営業収入：+433百万円 営業利益：+3百万円

営業収入の事業構成比

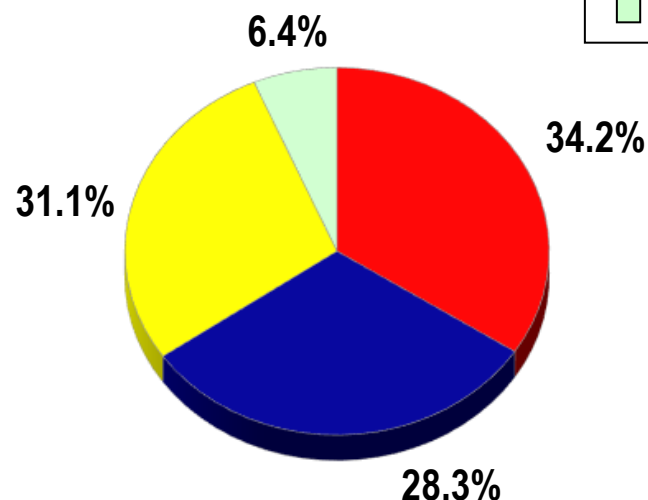
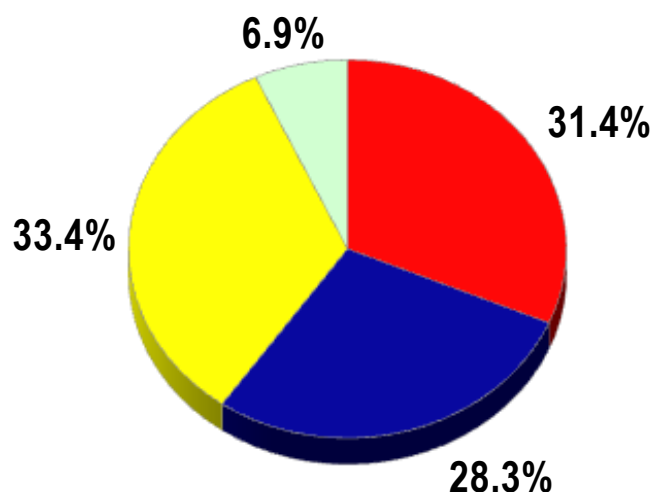


営業収入の事業別内訳

営業収入の事業別構成比

2017年3月期第2四半期累計

2018年3月期第2四半期累計



- 航空貨物輸送
- 海上貨物輸送
- ロジスティクス
- その他

(百万円)

各事業		2017年3月期第 2四半期累計		2018年3月期第 2四半期累計	
		営業収入		営業収入	
貨物輸送事業	航空貨物輸送	71,476	89,768	25.6%	
	海上貨物輸送	64,419	74,188	15.2%	
	ロジスティクス	75,837	81,741	7.8%	
	その他	15,628	16,752	7.2%	
合計		227,362	262,450	15.4%	

輸送モード別の営業粗利益率

* 営業粗利益＝営業収入－直接原価

	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期累計	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期累計
航空貨物輸送	29.3%	30.2%	30.0%	27.8%
海上貨物輸送	※27.8%	※30.8%	※31.0%	※28.0%

※2016年3月期第3四半期より、APLLの海上貨物輸送を加算（海上輸送に付随する受発注管理、買付物流を含む）。

2018年3月期業績見通し(予想)

<2017年11月9日修正>

(百万円)

項目	2017年3月期(実績)		2018年3月期(予想)	
		前期増減率		前期増減率
営業収入	474,330	12.9%	525,000	10.7%
営業総利益	85,014	18.5%	89,823	5.7%
営業利益	13,075	△14.9%	15,000	14.7%
経常利益	13,036	△27.2%	15,000	15.1%
税金等調整前 当期純利益	12,486	△30.0%	14,147	13.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,487	△54.1%	5,500	22.6%

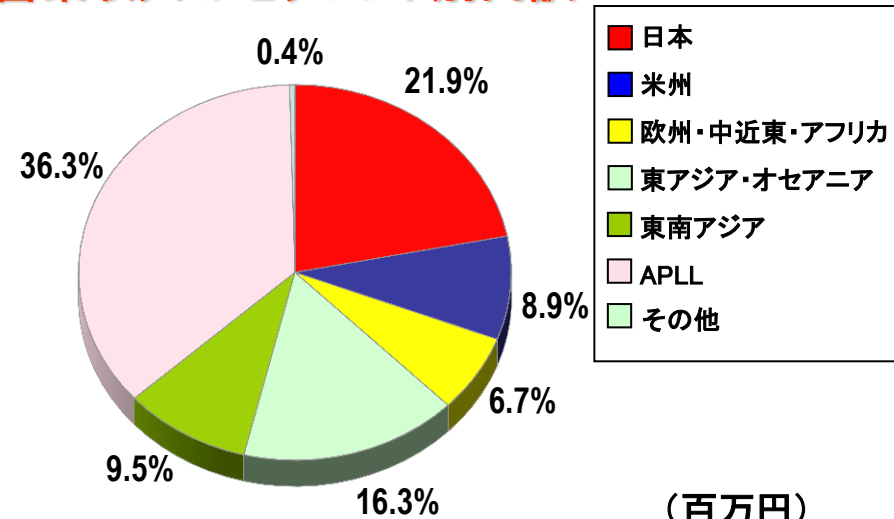
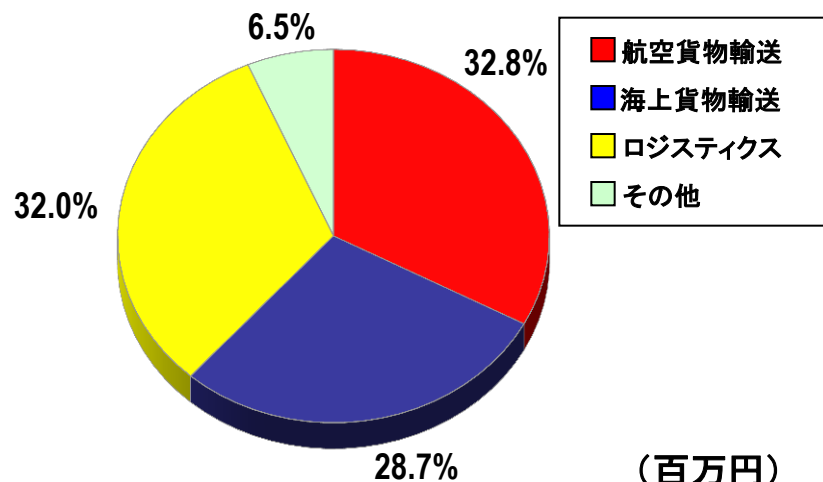
2018年3月期業績予想の事業別・セグメント別内訳

Global Logistics Partner

<2017年11月9日修正>

営業収入の事業別内訳

営業収入のセグメント別内訳



各事業		2018年3月期(予想)	
		営業収入	構成比
貨物輸送事業	航空貨物輸送	172,000	32.8%
	海上貨物輸送	151,000	28.7%
	ロジスティクス	168,000	32.0%
	その他	34,000	6.5%
合計		525,000	100.0%

セグメント別	2018年3月期(予想)	
	営業収入	営業利益
日本	118,000	4,700
米州	48,000	2,800
欧州・中近東・アフリカ	35,800	1,100
東アジア・オセアニア	87,400	4,900
東南アジア	51,300	3,000
APLL	194,900	4,400
のれん等の償却	—	△6,200
その他	2,000	300
調整額	△12,400	—
合計	525,000	15,000

今後の事業拡大に向けた施策

中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要

ビジョン

サプライチェーン・ソリューションの提供により、お客様の事業戦略を支えるパートナーになる。

スローガン

“ Going to the Next Phase !”
～航空貨物70万トン、海上貨物70万TEUに向けて～

2018年度数値目標 (2017年5月11日修正)

営業収入 : 5,680億円 営業利益 : 180億円

<戦略の柱>

業界で最も多彩なサービスを提供する

生産・消費市場でお客様の物流ニーズを実現する

コーポレート力を結集し生産性を高める

<戦略を支える経営基盤>

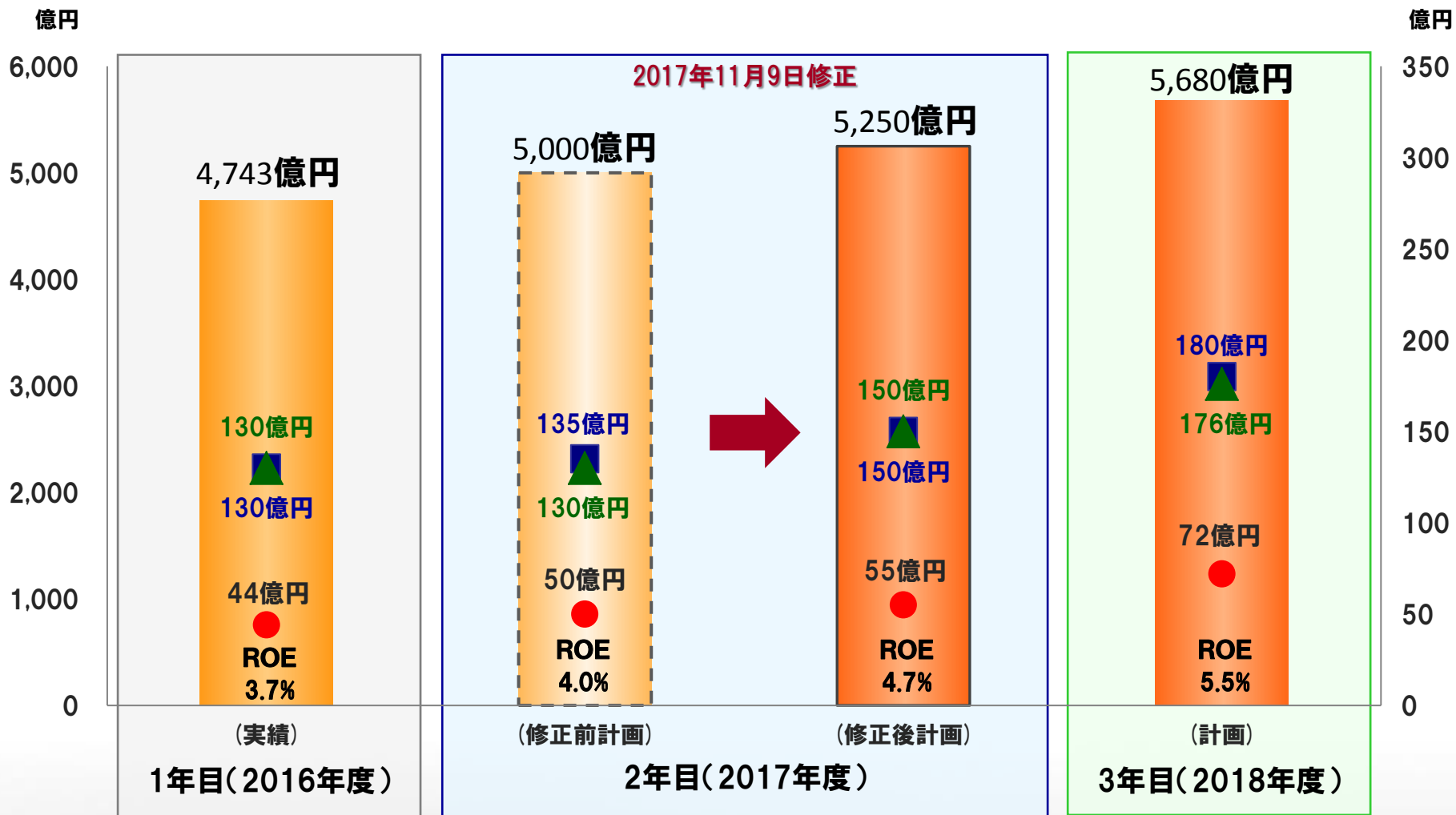
コーポレトリソースの
有効活用

コーポレトリスク
管理の強化

業務品質の向上

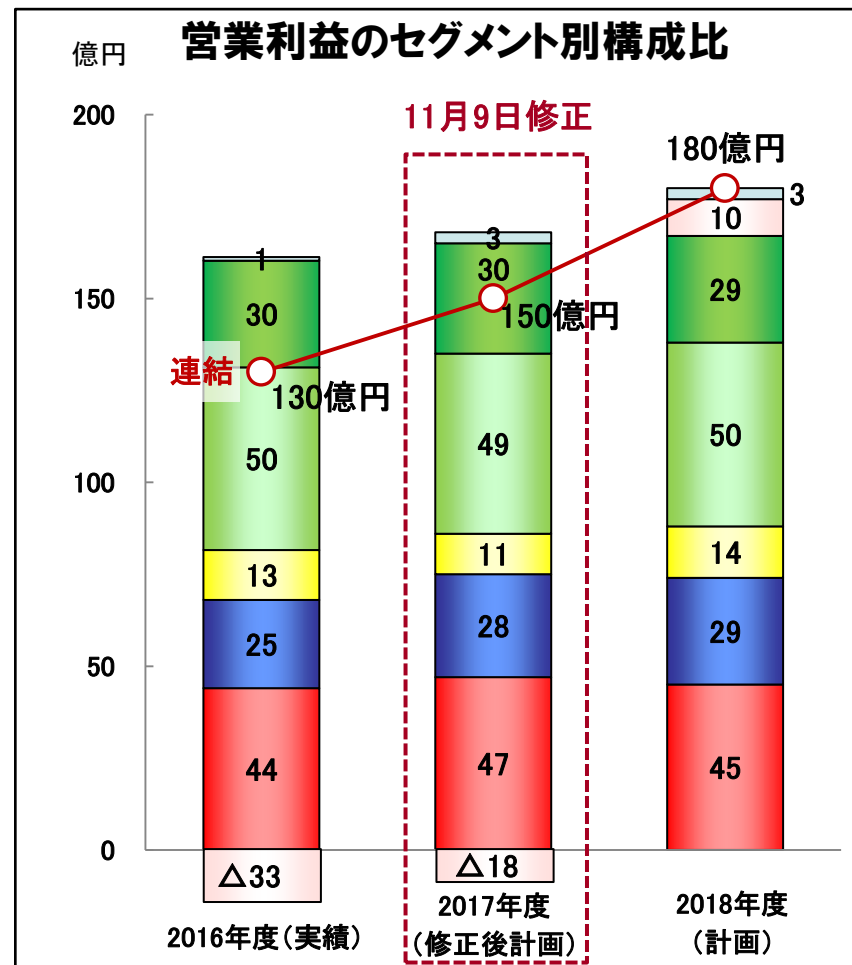
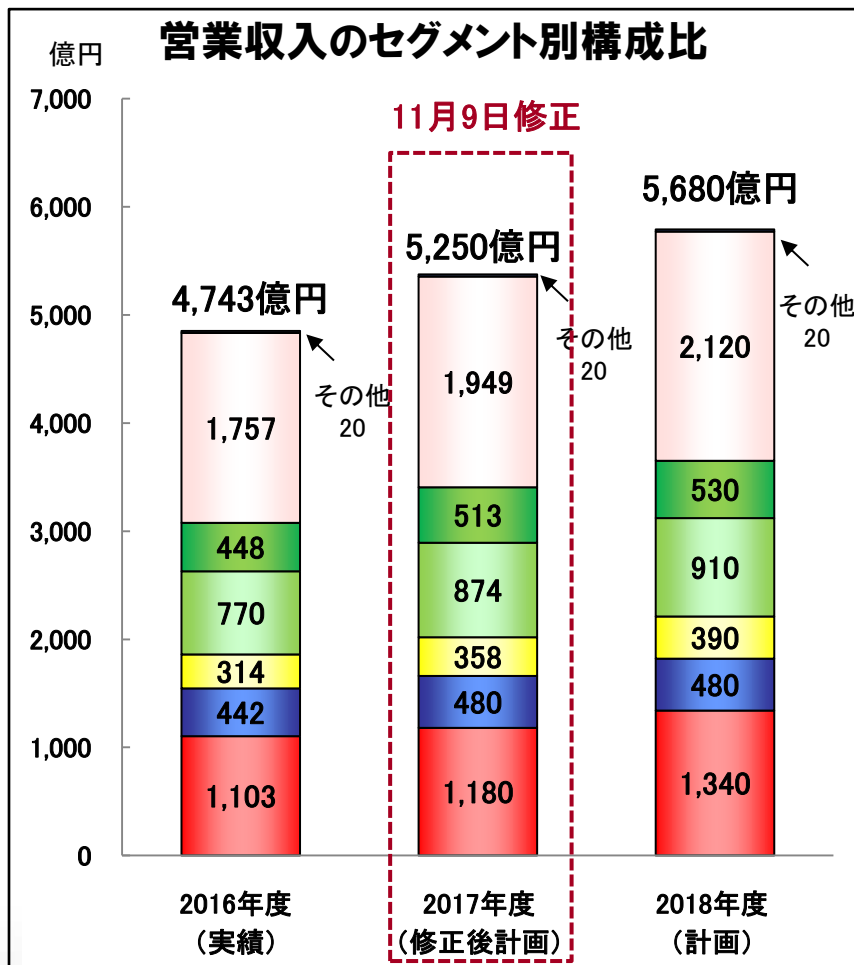
中期経営計画3カ年の実績と目標値

■ 営業収入
 ■ 営業利益
 ▲ 経常利益
 ● 親会社株主に帰属する当期純利益



セグメント別営業収入・営業利益の目標(2017年度、2018年度)

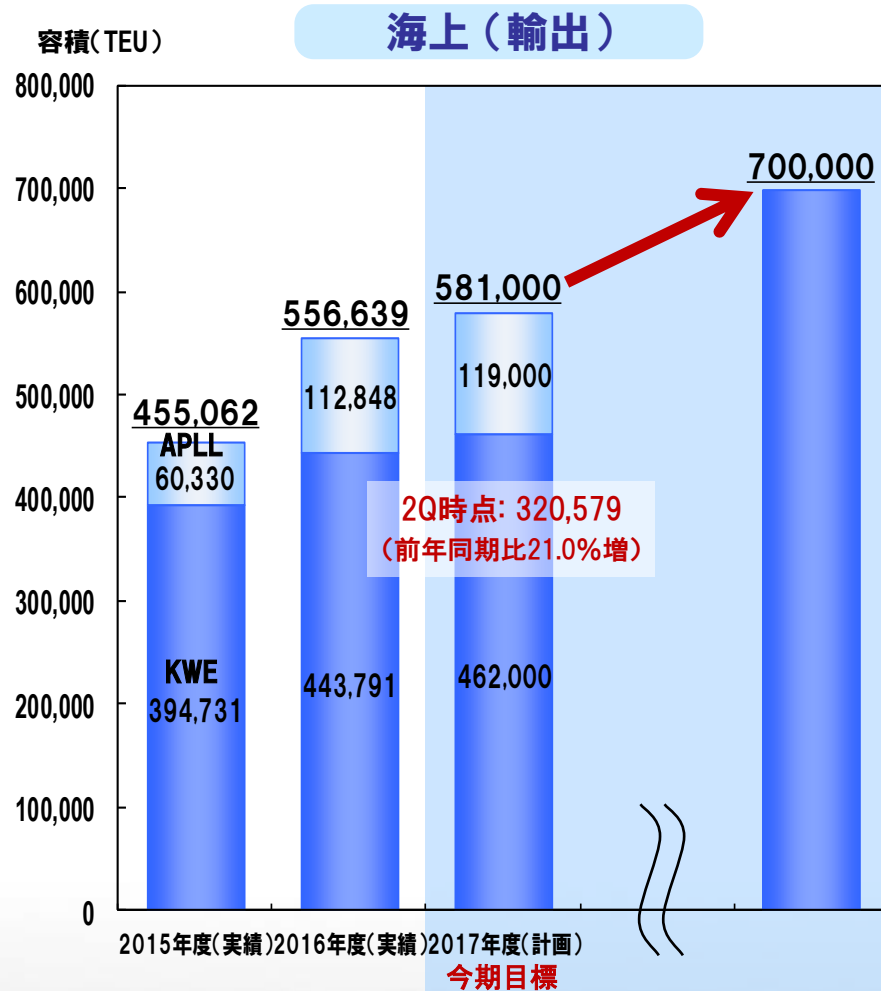
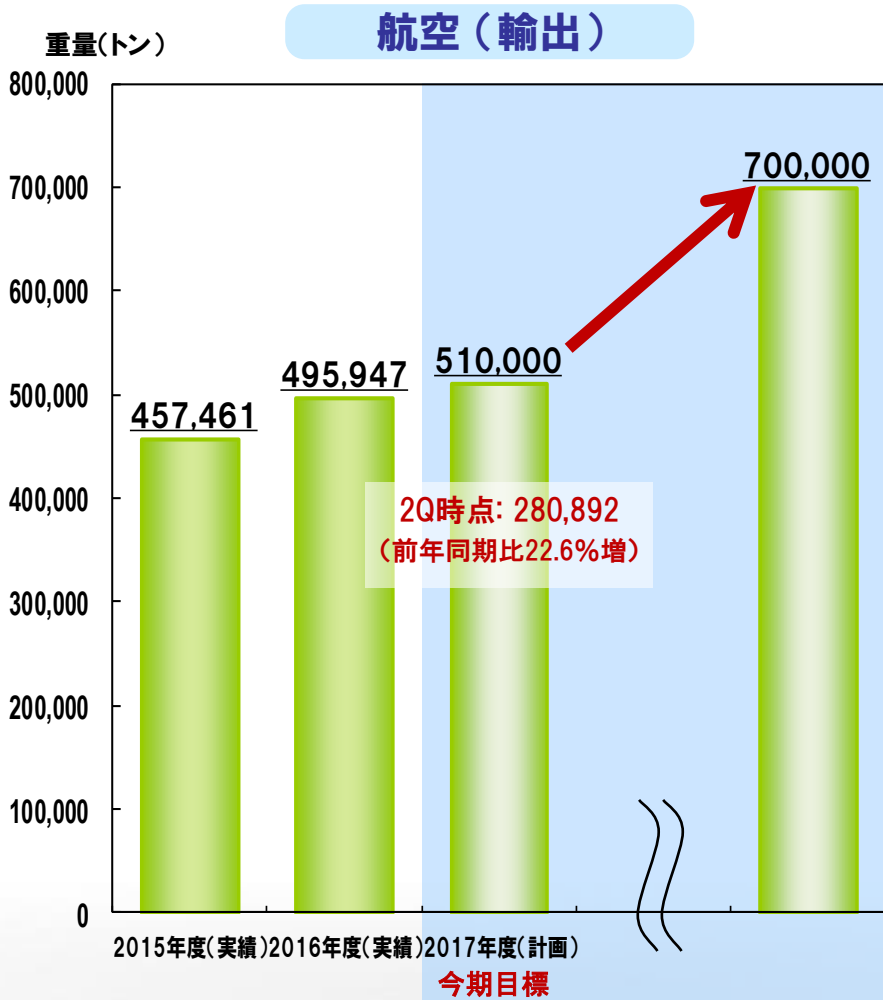
■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州・中近東・アフリカ ■ 東アジア・オセアニア ■ 東南アジア APLL ■ その他



※営業収入の合計額は、内部消去を考慮しています。(2016年度は111億円、2017年度の修正後計画は124億円、2018年度計画は110億円)

航空・海上物量の推移・目標

グローバル市場で戦うため、早期に航空70万トン・海上70万TEUの物量確保を目指す



2017年度の重点施策

1. TPEB (Trans-Pacific East Bound、アジア→米州) の物量の拡大
2. 欧米系企業とのビジネス拡大 - コーポレート・アカウントとのビジネス拡大
3. 品目別営業戦略の推進 (エレクトロニクス、自動車、ヘルスケア、
リテール/コンシューマー)
4. 将来を見据えたITシステムの検証
5. 収支改善に向けた取り組みの継続
6. 最適なグループ経営に向けたグループガバナンスの強化
7. 人材の育成と人的資源の最適な配置

代表的な共同販売の事例 (2017年10月現在)

- KWEによるAPLLのロジスティクス・ビジネスの取扱い
シンガポール (リテール関連)、カナダ (消費財・自動車関連)
- KWEによるAPLL顧客 (リテール関連) のアジア発航空輸送の取扱い
- KWEによるAPLL顧客 (リテール関連) の日本での航空・海上輸入通関の取扱い
- APLLによるKWEコーポレート・アカウント (素材関連) の中国での4PLビジネスの取扱い

Group Procurement Centerの開設 (2017年11月)

開設拠点: 香港 (本部)、東京、ロサンゼルス、ハンブルグ

➡ KWEとAPLLのノウハウを融合し、当社グループとして
海上運賃仕入れの最適化を進め、さらなる取扱物量の拡大
に向けた販売支援体制の強化を図る。



事業環境

旺盛な輸送需要の継続

- ・技術革新に起因する半導体、電子部品の活況
(スマホ、EV、AI、IoT、ドローン等)

×

運賃原価の上昇

- ・需給の逼迫
- ・上海での臨時便規制

当社グループの対応

運賃原価の上昇

これまで培ってきた豊富な経験とノウハウをベースに、顧客への転嫁、航空会社・輸送ルートの変更、混載効率の最適化等により負の影響を最小限にとどめる。

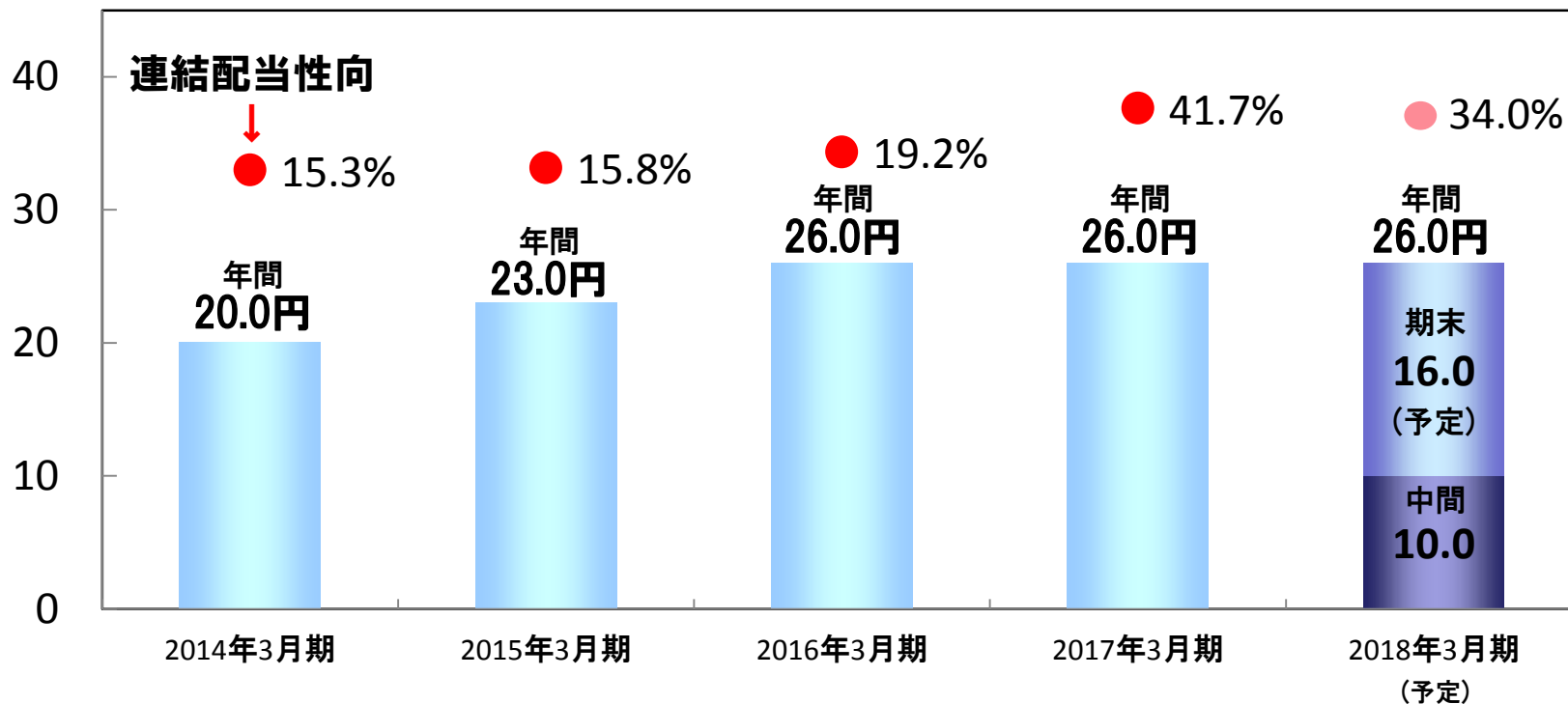
物量拡大の方針

グローバル・プレーヤーとして認知される取扱物量を確保し、次の次元“Next Phase”へ近づくため、引き続き、物量拡大策を推し進めていく。

当社グループは、株主の皆様への利益還元の充実、将来の国内外での事業展開および経営基盤の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本に、各期の連結業績等を考慮しながら増配に努めてまいります。

1株当たり年間配当金(円)

1株当たり配当金・連結配当性向の推移



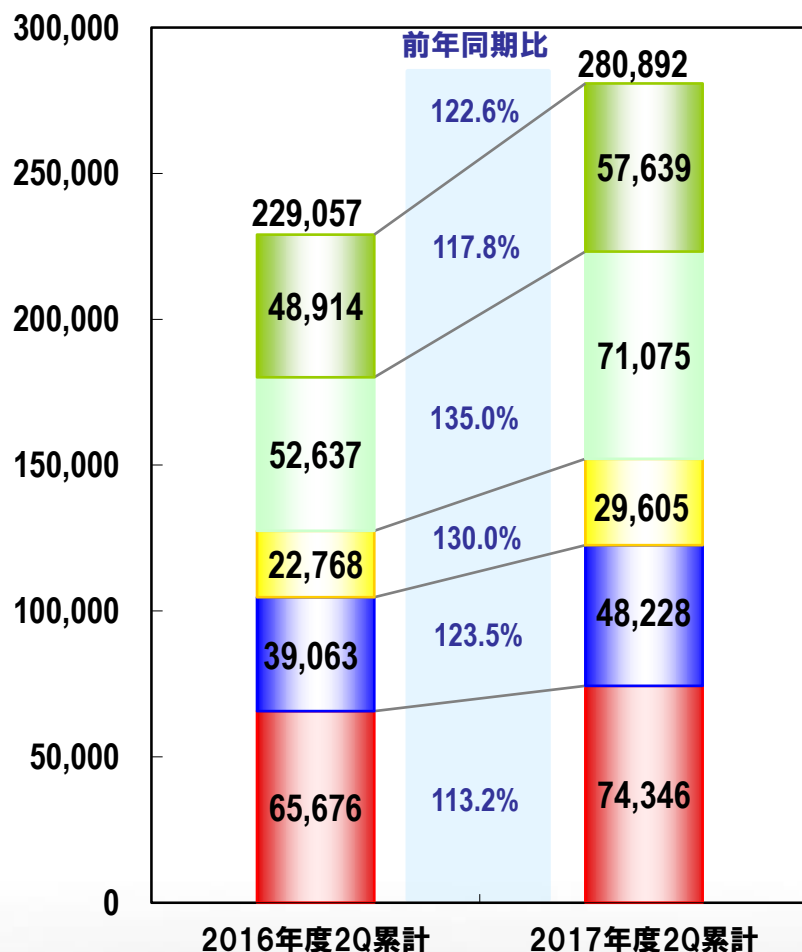
※当社は2015年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの1株当たり配当金は当該株式分割が2014年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

参考資料

セグメント別物量実績（航空）

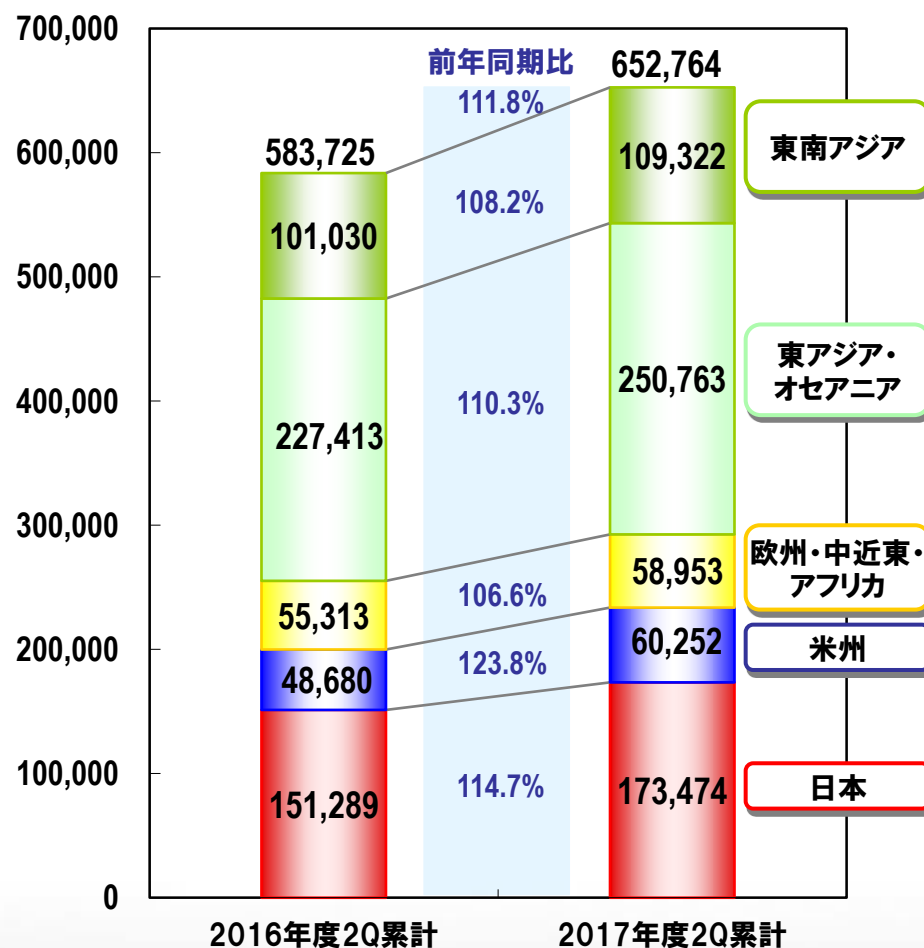
航空輸出

(重量:トン)



航空輸入

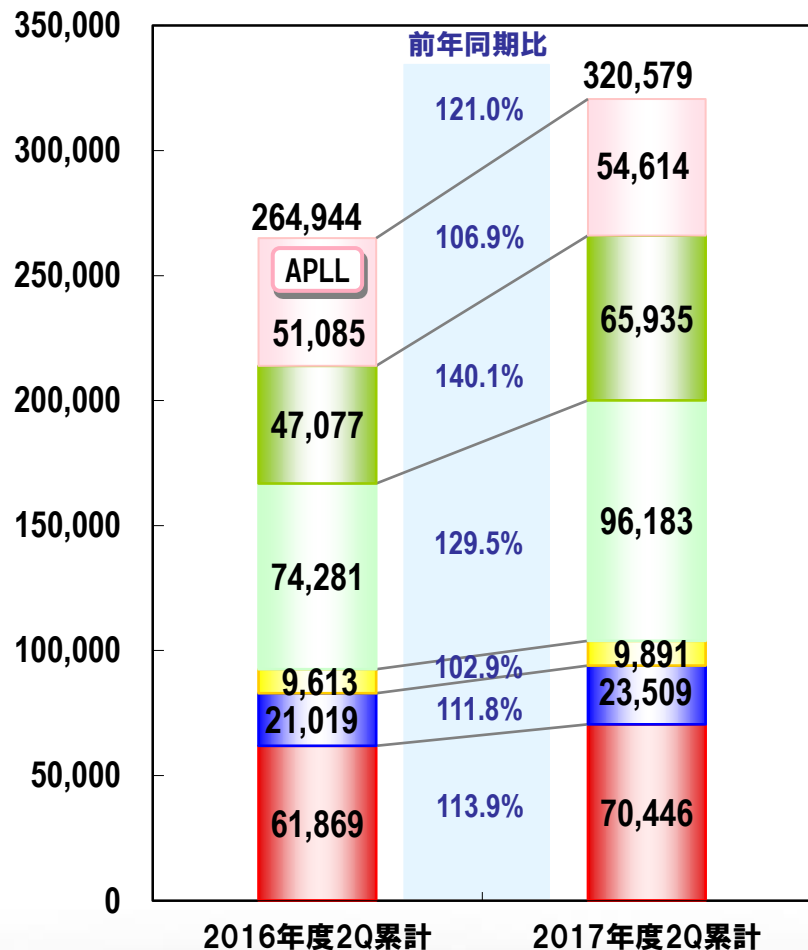
(件数)



セグメント別物量実績 (海上)

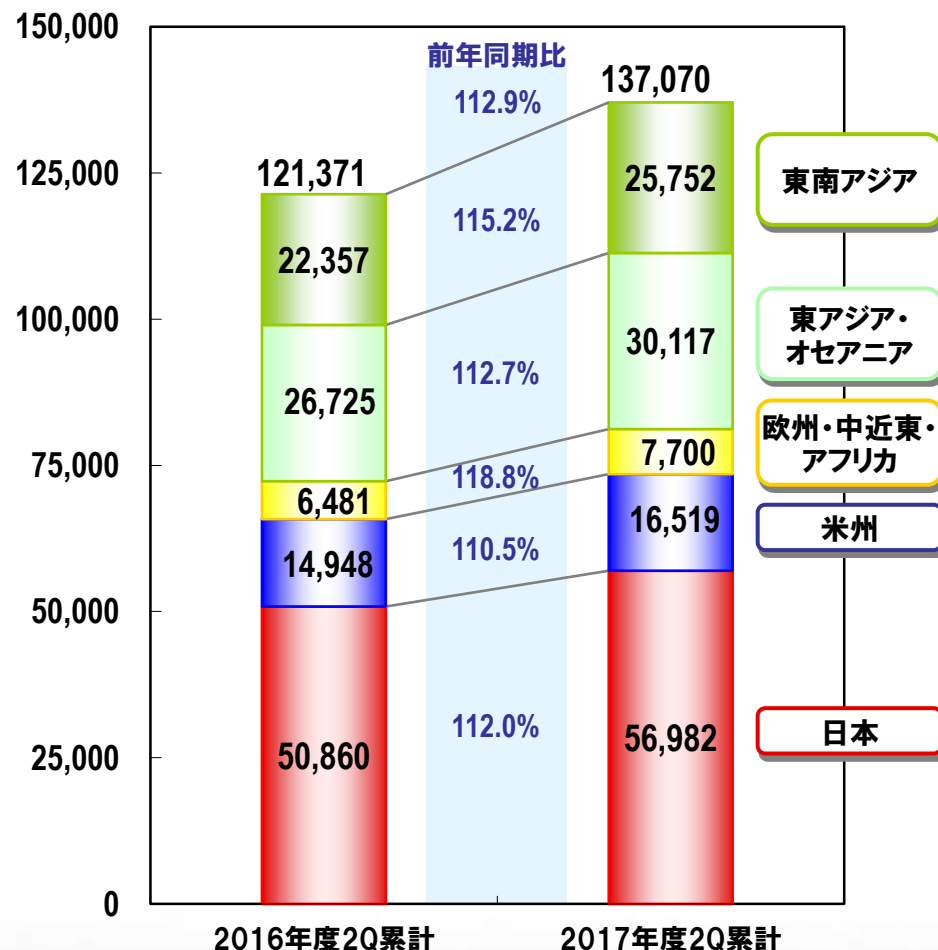
海上輸出

(容積:TEU)



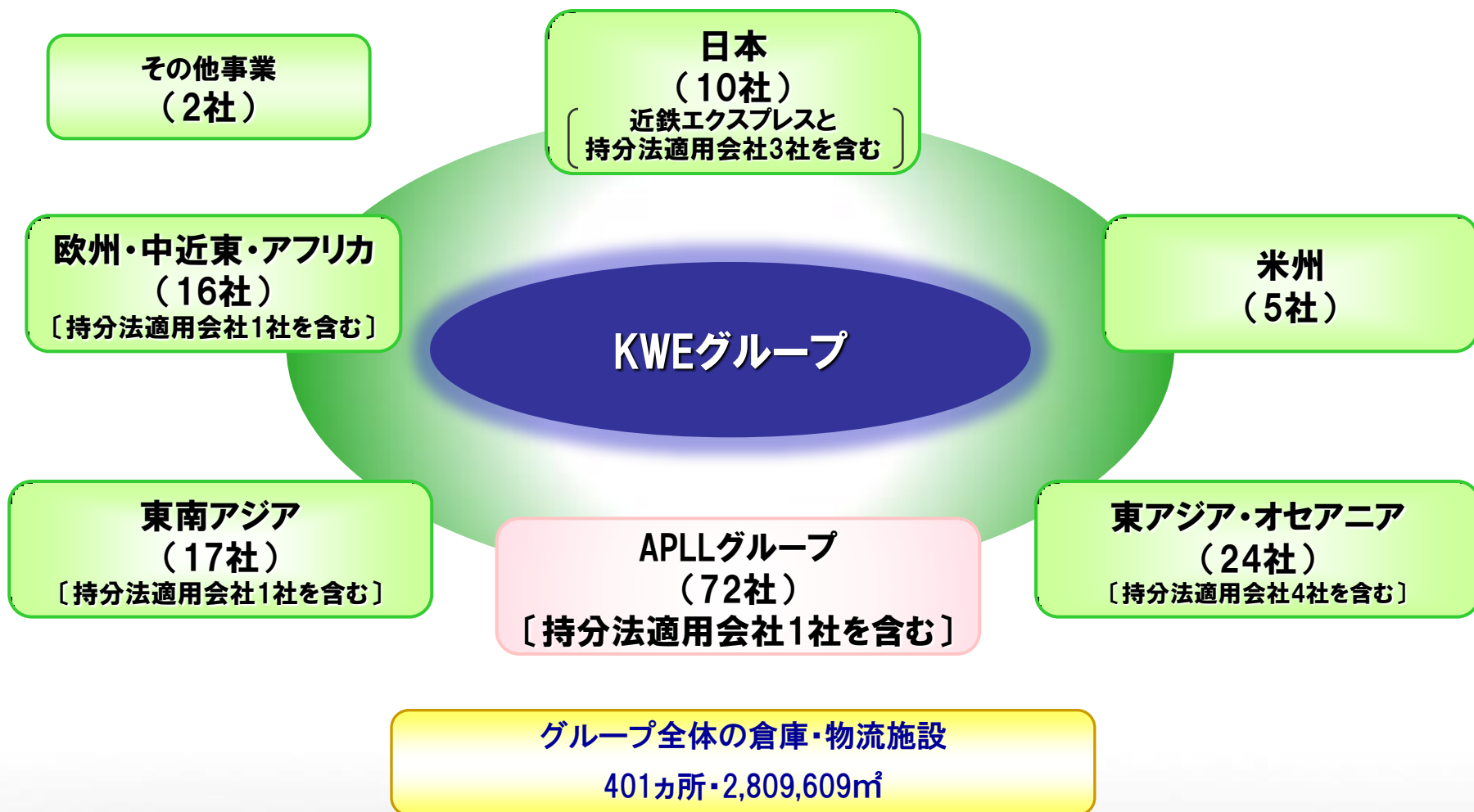
海上輸入

(件数)



当社グループのグローバル・ネットワーク

世界 46カ国 338都市 832拠点（2017年9月30日現在）



さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス 総務部 IR担当 木村、田中、高橋

TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501

ホームページ <https://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。